



K 中通信

学校だより 8号
令和元年10月18日
横浜市立軽井沢中学校

学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/karuizawa/>

【学校教育目標】 『主体的に考え行動し、未来を切り拓く生徒の育成をめざします』

- 様々な関わりを通し、よりよく解決する力を育てます（知・徳・公）
- 持続可能な社会の実現を目指し、しなやかに生きる力を育てます（体・開）



秋時雨 かくて寒さの まさり行く

高浜虚子
校長 星野 久美子

秋の終わりころにぽつぽつと降るにわか雨のことを、秋時雨（あきしぐれ）といいます。10月に入ってから最高気温が30℃を超える日がありましたが、ようやく平年の秋らしい気温になりました。コートが欲しい陽気です。

9月、10月とK中生が小学生や地域の方々と触れ合う機会が多くありました。

9月28日、ふれあい☆みやがやまつりでは、かき氷、ひんやりゼリー、ワッフル、落としてポン、ラムネ、お絵描きせんべい、ハムカツの販売のブースを運営したり、ハンドペイントでは子どもたちに優しく声をかけて可愛い絵を描く中学生の姿が見られました。地域に貼ってあっポスターは美術部のみなさんに描いてもらったものです。盛況のうちに終わることができ、保護者や地域の皆様方のご支援・ご協力に感謝を申し上げます。

台風のため10月14日に延期された第五地区・第六地区の健民祭は、生憎の天候で中止となりました。岡野中・軽井沢中合同演技はできませんでしたが、用具係や放送係で活躍するK中生の姿を見ることができました。10月17日は宮谷小学校・軽井沢中学校児童生徒交流日が行われ、小学生の授業見学や部活動体験が行われました。25日には宮谷小学校児童による合唱コンクールの見学や合唱披露を予定しています。

話は変わりますが、人の記憶というものは、何歳頃までさかのぼることができるのでしょうか。今でも決して忘れられない幼い頃の光景は、街が一面水浸しになり一気に上昇する水が我が家の床下に迫ってきた瞬間です。そして雨が止んだ後に長靴をはいて水の中を歩き回り、母親に強く叱られたことも強烈な思い出として残っています。

そのせいか、10月12日、台風19号の接近に伴い多摩川・鶴見川に対する避難勧告（警戒レベル3）が発令された時点で避難所への移動を決め、地域の中学校の体育館に避難しました。その後、多摩川の警戒レベルが4となり、さらに多くの人たちが避難所に来ました。（最終的には200人を超えていたように思います。）

日頃は軽井沢中学校防災拠点運営委員として活動をしているものの、いざ避難をしてみて感じたことは避難所の運営がごくわずかな人に頼っていることでした。そのため、マットやイスの運搬や暴風雨のために破れた体育館の窓ガラスへの対応などに地域の人たちの協力がありました。今回は毛布や食料・水などの配布はありませんでしたが、10名に満たない避難所運営の方たちでは、物品の移動や配布を迅速に行うことは厳しいだろうとも感じました。

アクシデントに直面しても快く協力を申し出た人たちのように、厳しい場面に直面しても主体的に考え行動する人間を育てたい。そんな気持ちを込めて、軽井沢中学校は地域交流活動を推進しています。